

①発表タイトル（日本語・英語）

非漢字系日本語学習者の漢字書字認知に対する学習期間の影響

Effect of Japanese Learning-length on Kanji Cognitive Processing by Japanese Learners with Non-Kanji Background

②発表者氏名

大和祐子

③発表内容

本研究では、非漢字系学習者の漢字の書字認知における日本語学習期間の影響を検討した。非漢字系学習者 43 名を対象に漢字 1 文字の正誤判断課題を課し、漢字の正誤判断の正確さを予測する諸要因について、決定木分析を用いて、総括的・階層的に明らかにした。その結果、正しいと判断すべき漢字の判断の正誤を予測する主要因は漢字の難易度であり、正しくないと判断すべき疑似漢字の判断の正誤を予測する主要因は誤りのタイプであることがわかった。つまり、両者とも判断の正確さには刺激要因が強く影響していた。学習者の学習期間は、正しい漢字の判断の正誤を予測する要因として限定的に影響しているのみで、その影響は日本語の語彙知識の豊富さより小さかった。また、疑似漢字の判断においては、学習期間は全く影響していなかった。以上の結果から、漢字 1 文字の書字認知に対して学習期間は語彙知識と付随して、わずかに影響しているのみであると考えられる。

④応募者所属

大阪大学